

INFOPRO 2010

第7回情報プロフェッショナル シンポジウム — 未来CANから始まる人の輪、情報の力 —

会期 2010年11月18日(木)～ 19日(金)

会場 日本科学未来館 7階
(東京都江東区青海2-3-6)

<http://www.miraikan.jst.go.jp/>

主催 独立行政法人 科学技術振興機構
Japan Science and Technology Agency (JST)

社団法人 情報科学技術協会
Information Science and Technology Association (INFOSTA)

後援 専門図書館協議会
特定非営利活動法人 日本医学図書館協会
財団法人 日本情報処理開発協会
社団法人 日本図書館協会

INFOPRO2010 タイムテーブル

2010年11月18日(木)

	A会場 みらいCANホール	B会場 会議室2	C会場 会議室1
13:00~14:55	セッションA1 特許情報1 (特許調査) (座長:徳野 肇)	セッションB1 学術雑誌 (座長:小野澤 繁雄)	セッションC1 情報と教育研究 (座長:平野 圭子)
13:00~13:25	A11 検索報告書の研究1 -Fターム検索-	B11 MEDLINE収録 国内医学雑誌の分析	C11 学術論文からの英語表現集の自動生成
13:30~13:55	A12 検索報告書の研究2 -構造検索-	B12 リンクリゾルバを利用した複数論文一括所蔵確認,文献複写依頼システムの構築	C12 初等教育向け教材作成支援サーバーの構築と運用
14:00~14:25	A13 概念検索の効率的活用例	B13 図書館情報学分野の雑誌論文に参照されたインターネット文献の入手可能性の分析	C13 新コミュニケーションメディア利用動向調査について
14:30~14:55	A14 国際公開時のIPC未付与状況と特許データベースへの影響	B14 学術誌における著作権規定への提案(2)	C14 学生の情報機器利用の現状とキャリア教育における情報活用能力の育成
14:55~15:30	休 憩		
15:30~17:30	特別講演 グーグルの切り開く情報の世界		

18:00~19:30	情報交流会(於:レストラン)
-------------	----------------

2010年11月19日(金)

	A会場 みらいCANホール	B会場 会議室2	C会場 会議室1
10:00~12:30	トーク&トーク 激論! これからの知財インフォプロ		
12:30~13:30	トーク&トーク・ランチブレイク(於:レストラン)		
13:40~15:05	セッションA2 特許情報2 (解析・評価機能) (座長:下川 公子)	セッションB2 情報システム構築1 (座長:山崎 久道)	プロダクト・レビュー1 (司会:田村 紀光)
13:40~14:05	A21 技術文献情報と特許情報の間にある情報的な意義に関する研究	B21 図書館業務および図書館システム統合の成功例	13:40~14:00 P01 (独)科学技術振興機構 14:00~14:20 P02 シュプリンガー・ジャパン(株)
14:10~14:35	A22 特許評価・分析ツールの事例研究	B22 病院図書室と臨床研修センターとの連携	14:20~14:40 P03 (株)サンメディア 14:40~15:00 P04 ユサコ(株)
14:40~15:05	A23 特許解析機能を有する新検索システム「PATENT INTEGRATION」	B23 博物館におけるスマートフォンを利用した収蔵資料に関する作業と記録のシームレス環境の構築	
15:05~15:15	休 憩		
15:15~17:10	セッションA3 特許情報3 (教育、アジア特許データベース) (座長:徳野 肇)	セッションB3 情報システム構築2 (座長:林 和弘)	プロダクト・レビュー2 (司会:田村 紀光)
15:15~15:40	A31 特許情報調査の教育方法の研究	B31 コンピュータゲームアーカイブの活性化に向けて	15:15~15:35 P05 トムソン・ロイター 15:35~15:55 P06 (社)化学情報協会
15:45~16:10	A32 中国、台湾、韓国の特許庁データベースの審査経過情報の活用	B32 高精度研究者人名名寄せによる効率的な研究成果情報の集積方法	15:55~16:15 P07 NPO 医学中央雑誌刊行会 16:15~16:35 P08 (株)ジー・サーチ
16:15~16:40	A33 新CNIPRの新機能を検証する	B33 科学技術文献を対象とする日中・中日機械翻訳	16:35~16:55 P09 レクシスネクシス・ジャパン(株)
16:45~17:10		B34 科学技術分野の日中対訳コーパス・日中専門用語の集積と公開	

*特許調査相談コーナーの開設

19日(金) 14時~17時 展示コーナー内に開設します。

特許調査、データベース、検索ツール、検索技術などについてお気軽にご相談下さい。

経験と実績のあるベテラン調査担当者が相談員として対応致します。

特定案件の特許検索や特許実務の詳細については範囲外とします。無料。事前申込不要です。

第1日目 11月18日(木)

A会場 みらいCANホール

○は会場発表者、敬称略

13:00~14:55 セッションA1 特許情報1(特許調査)
座長 徳野 肇((株)三菱化学テクノロジー)

演題A11 検索報告書の研究1 - Fターム検索 -

- Fターム検索を対象とした発表 -

(株)帝人知的財産センター

味の素製薬(株)

協和発酵キリン(株)

キョーリン製薬ホールディングス(株)

興和(株)

日本新薬(株)

○谷口 直秀

今井 奈月、高浜 彩乃

小林 尚美

藤田 江里

鶴森 熊子

中村 文胤

演題A12 検索報告書の研究2 - 構造検索 -

- 化学物質特許出願を対象とする化学構造検索の研究 -

味の素(株)

旭化成ファーマ(株)

(株)住化技術情報センター

○下川 公子

安藤 敏

岡 紀子

演題A13 概念検索の効率的活用例

大阪工業大学 知的財産研究科

○藤井 康輝、都築 泉

演題A14 国際公開時のIPC未付与状況と特許データベースへの影響

MRCテクノロジー(株)

JSR(株)

(株)三菱化学テクノロジー

サンアソシエーツ

○森谷 史江

久富 雅男

山崎 勇二

田口 明子

14:55~15:30 休憩

15:30~17:30 特別講演 グーグルの切り開く情報の世界

講師 村上憲郎氏 グーグル株式会社 名誉会長

18:00~19:30 情報交流会 会場: レストラン

B会場 会議室2

○は会場発表者、敬称略

13:00~14:55 セッションB1 学術雑誌
座長 小野澤繁雄 (埼玉医科大学附属図書館)

- 演題B11** MEDLINE収録 国内医学雑誌の分析
 - 電子化状況とインパクトの変化を中心に -
 NPO医学中央雑誌刊行会 ○松田 真美、黒沢 俊典
 科学技術政策研究所 林 和弘
- 演題B12** リンクリゾルバを利用した複数論文一括所蔵確認、文献複写依頼
 システムの構築
 ラクオリア創薬(株) ○村瀬菜都子、若林 宏明
- 演題B13** 図書館情報学分野の雑誌論文に参照されたインターネット文献の
 入手可能性の分析
 川村学園女子大学 藤田 節子
- 演題B14** 学術誌における著作権規定への提案 (2)
 - 英文誌における著作権の取り扱い調査結果および著作権規定の方向性の検討 -
 独立行政法人科学技術振興機構 ○日高 真子、田寺 一暁

C会場 会議室1

○は会場発表者、敬称略

13:00~14:55 セッションC1 情報と教育研究
座長 平野 圭子 (Cambridge University Press Japan)

- 演題C11** 学術論文からの英語表現集の自動生成
 名古屋大学大学院 ○松原 茂樹、酒井 佑太
 小澤 俊介、杉木 健二
- 演題C12** 初等教育向け教材作成支援サーバーの構築と運用
 鈴鹿短期大学 ○田中 雅章
 東京理科大学 大森 晃
 安全学研究所 根来 方子
- 演題C13** 新コミュニケーションメディア利用動向調査について
 - 日本化学会第90春季年会展示における、Twitter等のメディア・ツール利用に
 関するアンケート調査報告 -
 独立行政法人科学技術振興機構 ○青山 幸太
 (社)日本化学会 林 和弘
- 演題C14** 学生の情報機器利用の現状とキャリア教育における情報活用能力
 の育成
 北陸学院大学 短期大学部 辰島 裕美

特別講演

グーグルの切り開く情報の世界

－ プロフェッショナルの仕事とは －

11月18日(木) 15:30～17:30

講師 村上憲郎氏
グーグル株式会社 名誉会長



2003年4月、Google Inc. 副社長兼 Google Japan 代表取締役社長として Google に入社以来、日本における Google の全業務の責任者を務め、2009年1月1日付けで退任し、名誉会長に就任。

Google 入社以前には、2001年に Docent の日本法人である Docent Japan を設立し、同社の社長として e-ラーニング業界でリーダーシップを発揮。

1997年から1999年の間は、Northern Telecom Japan の社長兼最高経営責任者を務め、Northern Telecom に買収された Bay Networks の子会社である Bay Networks Japan との合併を成功に導く。後に Nortel Networks Japan と改名された同社において、2001年中旬まで社長兼最高経営責任者を務める。

・講演概要

『世界の情報を整理して、世界中の人がアクセスできて、使えるようにする』というミッションステートメントを掲げて、次々と新しいサービスを、それも無料で提供するグーグル。

ここ数年は、IT産業全体を根本的に変革するかもしれないといわれる『クラウド・コンピューティング』という新しいコンピューティング・スタイルの提唱者・推進者としても、注目されている。さらに、クラウドを支える巨大データセンタの省エネ化・グリーン化に必須であるとして、オバマ政権の『グリーン・ニューディール』政策に寄り添う形で、『再生可能エネルギー』や『スマートグリッド』へのコミットメントを深めている。講演では、これらの点の個々の内容と、それらの相互連関の必然性と整合性を概説すると共に、特に、ミッションステートメントにいうところの「世界の情報の整理」の射程距離を、プロフェッショナルの仕事として、どこまで切り開こうとしているのかという視点から、開陳する。

トーク&トーク

「激論！ これからの知財インフォプロ」

11月19日(金) 10:00~12:30(みらいCAN ホール)
12:30~13:30(ランチブレイク；別会場)^(*)

情報のプロフェッショナルが、よりアクティブに業務に関わっていくための元気づけや、方向性の確認のために、今回は特に、知財関連に焦点を絞り、知財業務を通して知財情報の担当者と関わっていらっしゃる方々を話題提供者としてお招きいたします。

それぞれのお立場からまず、その活動事例、成功事例などを各々20分程度紹介いただきます。これらの話題をきっかけに会場参加者との間で、今回のテーマである「激論！ これからの知財インフォプロ」をキーワードに質疑・討議を展開し、参加者にとって、元気が得られ、モチベーションを高め、あるいは存在意義の向上のための活動に結びつく、というような、熱い議論の場を提供したいと考えています。

話題提供者と話題

早崎 泰氏 (日油(株) 執行役員知的財産部長、日本知的財産協会 副理事長)

- ・ 経営的な観点から知財情報担当者に期待すること。
- ・ 各社を見て、知財情報部門・知財情報担当について思うこと。
- ・ 期待に応えるためには何が必要かどう変わることが期待されているか。

南田 泰子氏 (エーザイ(株) 知的財産部 担当課長(弁理士))

- ・ 海外ユーザーグループと関わって感じたこと。組織、業務、意識の違い。
- ・ 担当から離れてみて知財情報担当について気づいたこと、感じたこと。
- ・ 知財情報担当に求められていると思うこと、優れていると思うこと。

渋谷 善弘氏 ((独)工業所有権情報・研修館 人材育成部長)

- ・ 審査官や調査担当者育成に有効であった事例を紹介。
- ・ 調査スキルの向上に向けて配慮していること。
- ・ 知財情報担当者に接して思うこと。

コーディネーター

下川 公子氏 (味の素(株)) / 徳野 肇氏 ((株)三菱化学テクノロジー)

(*) トーク&トーク終了後、話題提供者との昼食を兼ねた交流の場を設定します(有料、事前申込み制)。

10:00~12:30 トーク&トーク

激論! これからの知財インフォプロ

13:40~15:05 セッションA2 特許情報2(解析・評価機能)
座長 下川 公子(味の素(株))

演題A21 技術文献情報と特許情報の間にある情報的な意義に関する研究
- 「植物プラスチック」を例に技術動向分析を行い、その比較検討から
情報に潜む性質を探る -
インパテック(株) ○有賀 康裕、小野澤 実
新井喜美雄
落合 圭、川井千佳子
穴戸 範生
独立行政法人科学技術振興機構

演題A22 特許評価・分析ツールの事例研究
- Biz Cruncher(パテントリザルト)を使用した事例研究 -
ゼリア新薬工業(株) ○吉野 孝
(財)日本特許情報機構 藤城 享、桐山 勉
大阪工業大学大学院 知的財産研究科 都築 泉
日科情報(株) 長谷川正好、田中 宣郎
はやぶさ国際特許事務所 川島 順
田中貴金属工業(株) 藤嶋 進

演題A23 特許解析機能を有する新検索システム PATENT INTEGRATION
アジア特許情報研究会 伊藤 徹男

15:05~15:15 休憩

15:15~16:40 セッションA3 特許情報3(教育、アジア特許データベース)
座長 徳野 肇((株)三菱化学テクノリサーチ)

演題A31 特許情報調査の教育方法の研究
- 指南車プログラムの応用 -
(財)日本特許情報機構 特許情報研究所 ○桐山 勉
日科情報(株) 長谷川正好、田中 宣郎
(財)日本特許情報機構 藤城 享
大阪工業大学大学院 知的財産研究科 都築 泉
はやぶさ国際特許事務所 川島 順
ゼリア新薬工業(株) 吉野 孝
田中貴金属工業(株) 藤嶋 進

演題A32 中国、台湾、韓国の特許庁データベースの審査経過情報の活用
東ソー(株) ○沖 祥嘉
アジア特許情報研究会 伊藤 徹男

演題A33 新CNIPRの新機能を検証する
富士フイルム(株) ○田畑 文也
アジア特許情報研究会 伊藤 徹男

10:00

↓

トーク&トーク 「激論! これからの知財インフォプロ」 (A会場)

12:30

13:40~15:05 セッションB2 情報システム構築1
座長 山崎 久道 (中央大学)

演題B21 図書館業務および図書館システム統合の成功事例
 - 原子力二法人の統合による図書館員の経験から -
 独立行政法人日本原子力研究開発機構 ○武田 志穂、米澤 稔
 深澤 剛靖、清藤 妙子
 (株)NESI 小野瀬貴利、皆川 隆司
 東日技研(株) 横山 大輔

演題B22 病院図書室と臨床研修センターとの連携
 聖隷三方原病院 大岩美恵子

演題B23 博物館におけるスマートフォンを利用した収蔵資料に関する作業と記録のシームレス環境の構築
 - ASP型収蔵品管理サービス(MuseumDatabank)活用による収蔵品管理業務記録の可能性 -
 東京工業大学百年記念館 ○阿児 雄之、遠藤 康一
 (株)廣済堂 林 太一

15:05~15:15 休憩

15:15~17:10 セッションB3 情報システム構築2
座長 林 和弘 ((社)日本化学会)

演題B31 コンピュータゲームアーカイブの活性化に向けて
 日本女子大学 後藤 敏行

演題B32 高精度研究者人名名寄せによる効率的な研究成果情報の集積方法
 (株)RNAi ○山田 智之、西 信能
 トムソン・ロイター 佐藤 友思
 独立行政法人科学技術振興機構 棚橋 佳子、渡辺 麻子
 松邑 勝治、黒沢 努
 矢口 学

演題B33 科学技術文献を対象とする日中・中日機械翻訳
 - 日中・中日言語処理技術の研究開発 その1 -
 独立行政法人情報通信研究機構 ○井佐原 均
 京都大学 黒橋 禎夫

演題B34 科学技術分野の日中対訳コーパス・日中専門用語の集積と公開
 - 日中・中日言語処理技術の研究開発 その2 -
 独立行政法人科学技術振興機構 ○菊池 俊一、青木 雅子
 井上 聡子、蔣 葳

C会場 会議室1

10:00



トーク&トーク 「激論! これからの知財インフォプロ」 (A会場)

12:30

13:40~15:00 プロダクト・レビュー1 司会: 田村 紀光((社)情報科学技術協会)

- P01** JDreamII・AnVi seers新機能の紹介
独立行政法人 科学技術振興機構
- P02** シュプリンガーリンク新プラットフォーム
シュプリンガー・ジャパン株式会社
- P03** 電子資料の価値を最大化するソリューションツール
株式会社サンメディア
- P04** Primo+Primo Central ~更なるインテグレーション~
ユサコ株式会社

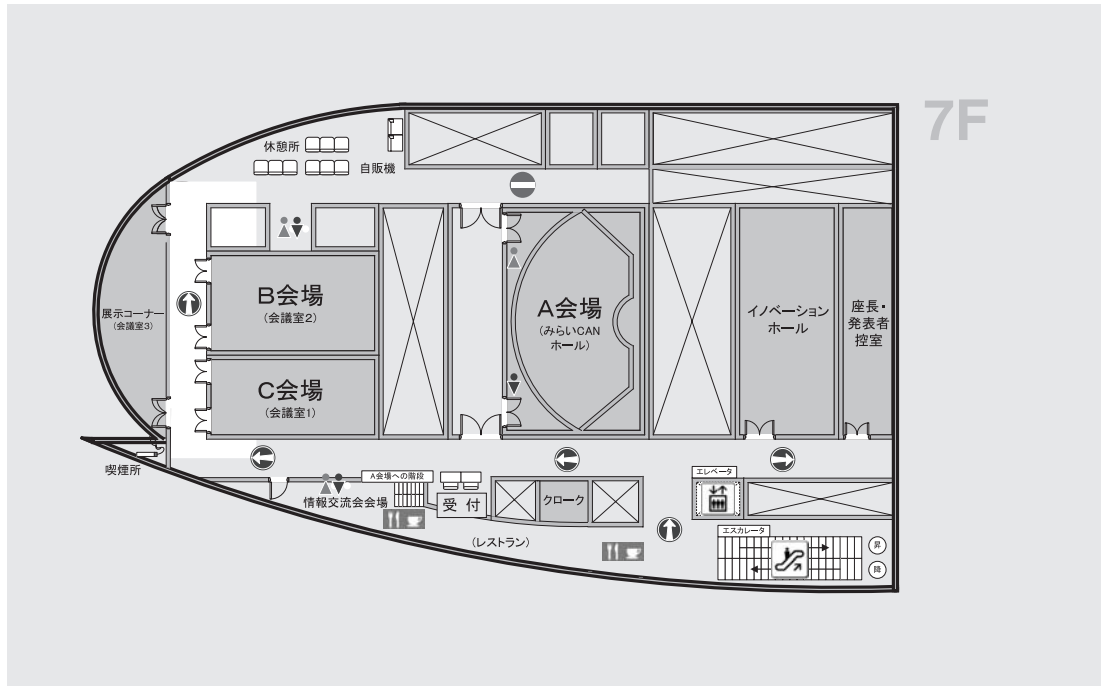
15:00~15:15 休憩

15:15~16:55 プロダクト・レビュー2 司会: 田村 紀光((社)情報科学技術協会)

- P05** Thomson Innovationの紹介
トムソン・ロイター
- P06** SciFinder(Web版)新機能のご紹介
社団法人化学情報協会
- P07** 医中誌webの新バージョン
特定非営利活動法人 医学中央雑誌刊行会
- P08** 次世代の情報検索サービス「ProQuest Dialog」
株式会社ジー・サーチ
- P09** 情報を扱うプロのための、情報検索ツールのご紹介
レクシスネクシス・ジャパン株式会社

会場案内図

日本科学未来館 7階 (1階エレベーターをお使いください)



A会場 (みらいCANホール)

- 特別講演
- トーク&トーク
- 研究・事例発表

B会場 (会議室2)

- 研究・事例発表

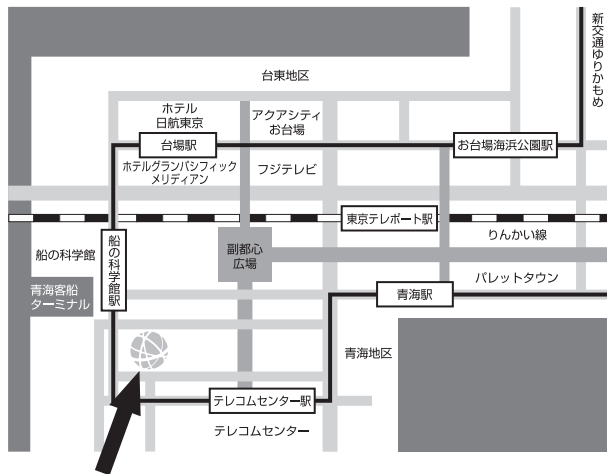
C会場 (会議室1)

- 研究・事例発表
- プロダクトレビュー

展示コーナー (会議室3)

会場へのアクセス

東京都江東区青海2丁目41番3



電車

- 新交通ゆりかもめ (新橋駅～豊洲駅)

「船の科学館駅」下車、徒歩約5分

「テレコムセンター駅」下車、徒歩約4分

- 東京臨海高速鉄道りんかい線 (新木場駅～大崎駅)

「東京テレポート駅」下車、徒歩15分

都バス

- JR浜松町駅より

虹01 (浜松町駅～国際展示場前駅) 「日本科学未来館前」下車

- 東京メトロ東西線門前仲町駅より

海01 (門前仲町～東京テレポート駅前) 「日本科学未来館前」下車

京急バス

- JR大井町駅より

井30 (大井町駅～船の科学館前) 「船の科学館前駅」下車

- JR大森駅より

森30 (大森駅～大森海岸線～船の科学館前) 「テレコムセンター駅前」下車

森40 (大森駅～平和島駅～船の科学館前) 「テレコムセンター駅前」下車

船

- 水上バス

(日の出桟橋～船の科学館) 約25分 「船の科学館」下船

(しながわ水族館～大井海浜公園～船の科学館) 約25分 「船の科学館」下船

車

- 横浜・川崎・大井・品川方面

首都高速湾岸線 東京湾トンネル通過後、13号地ランプより1.2Km

- 箱崎(都心)・小管・千梨方面

首都高速湾岸線 有明ランプより直進3Km

- 竹芝・芝浦方面

首都高速11号線 台場ランプより約2Km

臨港道路(レインボーブリッジ下層)を通り、台場出口より約1.8Km

□参加費（予稿集代、2日間共通）

シンポジウム聴講： 一般：6,300円 学生：2,100円（消費税込み）

トーク&トーク・ランチブレイク： 1,200円（消費税込み）

情報交流会： 4,200円（消費税込み）

□参加申込み方法

参加申込受付フォーム (<http://www.dicalpha.net/infopro/>) もしくは別紙の「参加申込用紙」でお申し込みください。

独立行政法人
科学技術振興機構
Japan Science and Technology Agency (JST)

〒102-8666 東京都千代田区四番町5-3
知識基盤情報部 調査普及担当
TEL : 03-5214-8406 FAX: 03-5214-8470

社団法人
情報科学技術協会
Information Science and Technology Association
(INFOSTA)

〒112-0002 東京都文京区小石川2-5-7
佐佐木ビル
TEL : 03-3813-3791 FAX : 03-3813-3793
E-mail : sympo@infosta.or.jp

*お申込みに関するお問い合わせは、以下へお願いいたします。
INFOPRO受付担当 TEL : 03-5391-2174 FAX : 03-5391-2232

参加申込は、
以下の参加申込受付フォーム
<http://www.dicalpha.net/infopro/>

プログラムは、
以下のINFOSTAホームページ
<http://www.infosta.or.jp/symposium/infopro2010program.pdf>